平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場会社名　株式会社免疫生物研究所　　上場取引所　東
コード番号　4570　URL http://www.ibl-japan.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）清藤　勉
問合せ先責任者　（役職名）取締役事業統括推進本部長　（氏名）中川　正人　TEL 0274-22-2889
四半期報告書提出予定日　平成27年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	124	5.1	△42	―	△41	―	20	―
27年3月期第1四半期	118	10.4	△71	―	△63	―	△62	―

（注）包括利益　28年3月期第1四半期　20百万円　（―%）　27年3月期第1四半期　△63百万円　（―%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.18	―
27年3月期第1四半期	△9.57	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,140	2,640	83.8
27年3月期	3,138	2,619	83.2

（参考）自己資本　28年3月期第1四半期　2,632百万円　27年3月期　2,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
28年3月期	―				
28年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想（平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	900	23.5	△35	―	△50	―	20	―	3.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
（注）当社の業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成（施策等）においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	6,547,590 株	27年3月期	6,547,590 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,090 株	27年3月期	1,090 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	6,546,500 株	27年3月期1Q	6,547,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における、当社グループのセグメント別の業績は、下記のとおりとなりました。

・診断・試薬事業

研究用関連において、当社の主力製品である抗体関連試薬の売上高は、国内外ともに順調に推移し前年を大幅に上回る一方、受託サービスは、タカラバイオ株式会社からの引継ぎ等に期間を要し、前年並みの販売となりました。しかしながら、当第１四半期において、タカラバイオ株式会社との販売契約の変更による在庫買戻しの影響があり、その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は48,757千円（前年同期比32,8％減）となりました。

なお、上記在庫買戻しによる売上総利益額の影響額につきましては、前連結会計年度において、返品調整引当金を繰入計上し、当第１四半期連結累計期間で戻入計上しておりますので、売上総利益額への影響は軽微となりました。

医薬用関連においては、自社製造の動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キットの販売が増加したことや海外向けのアルツハイマー関連の抗体の販売が増加したことにより、売上高は31,855千円（前年同期比144,1％増）となりました。なお、当事業においては、新規治療薬シーズの開発や体外診断用医薬品の製品開発を積極的に行っております。

その結果、研究用関連、医薬用関連を合わせた当セグメントの売上高は80,612千円（前年同期比5.8％減）と前年同期に比べ減少しましたが、営業利益は、買戻しの影響を除くと売上高が前年同期に比べ大幅に増加しており、買戻しによる損益への影響は前連結会計年度に返品調整引当金によって処理していることから、10,382千円（前年同期は35,968千円の営業損失）の黒字となり、収益性は向上しております。

・遺伝子組換えカイコ事業

当第１四半期において、大手動物医薬品企業との共同研究が順調に推移し、動物用医薬品候補タンパク質の売上高が計上されました。また、大手体外診断用医薬品企業からの抗体受託サービスおよび診断用医薬品原料販売の売上高も計画通り推移しております。その結果、当セグメントの売上高は14,767千円（前年同期比295.9％増）、営業損失は37,549千円（前年同期は15,750千円の営業損失）となりました。なお、当セグメントにおいては、将来に向けた重点的な研究開発等を積極的に進めております。アステラス製薬株式会社と共同研究を実施している「ヒト型フィブリノゲン」を原料とする医薬品の開発は、平成25年12月25日締結の共同研究の結果を踏まえ、新たな共同研究を実施しております。また、そのほかの共同研究や遺伝子組換えカイコ関連受託サービスにつきましても順調に進行しております。

・検査事業

当事業の主力である、ゲルろ過HPLC法を応用したシステムにより、血中リポタンパク質分画の詳細プロファイリングデータを解析する受託サービス（Lipo SEARCH）においては、海外からの引き合いが増加したものの国内での販売の回復が遅れております。また、動物病院におけるコンパニオン・アニマルの診断支援サービス（Lipo TEST）は、同市場において競合サービスとの価格競争等で、受注が伸び悩みました。その結果、当セグメントの売上高は26,558千円（前年同期比8.3％減）、営業損失は8,428千円（前年同期は7,790千円の営業損失）となりました。

・化粧品関連事業

当社グループが販売する、化粧品原料「ネオシルク®－ヒトコラーゲンⅠ」配合化粧品「フレヴァン」の知名度アップを図るため、雑誌や新聞へ継続して広告を掲載しており、会員数および継続ユーザーも増加傾向にあります。また、安全性の高いコラーゲン「ネオシルク®－ヒトコラーゲンⅠ」の知名度も向上しており、全世界に販売するための販売網を構築するために、大手化粧品原料取扱企業等への販促活動を積極的に進めております。その結果、当セグメントの売上高は3,096千円、（前年同期比303.2％増）、営業損失は7,152千円（前年同期は12,560千円の営業損失）となりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、124,940千円（前年同期比5.1％増）となりました。利益面においては、前連結会計年度に株式会社エムコスメティックスの株式を売却したことにより（平成27年3月27日発表の「連結子会社の異動（株式譲渡）および特別損失発生に関するお知らせ」参照）、経費負担が軽減されたことや、診断・試薬事業において販売契約変更等で収益性が向上したことにより、営業損失が42,507千円（前年同期は71,259千円の営業損失）、経常損失が41,560千円（前年同期は63,745千円の経常損失）とそれぞれ改善となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、投資有価証券売却益の計上（平成27年5月1日発表の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上に関するお知らせ」参照）により20,852千円（前年同期は62,715千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）の利益計上となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比0.1％増の3,140,310千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

「現金及び預金」につきましては親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や売上債権の回収等により211,579千円増加となっております。一方、「受取手形及び売掛金」につきましては前連結会計年度の第４四半期連結会計期間に比べ売上の計上が減少したこと等から98,518千円の減少となっております。また、投資有価証券につきましては有価証券の売却により100,800千円減少となっております。

(負債)

当第１四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比3.6％減の499,890千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

「返品調整引当金」が38,738千円の減少及び一年内返済予定長期借入金を含めた「長期借入金」が返済により26,682千円減少となっております。一方、「その他」（流動負債）が未払債務の増加等により44,719千円増加となっております。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比0.8％増の2,640,419千円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年５月13日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第１四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第１四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第１四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－２項（４）、連結会計基準第44－５項（４）及び事業分離等会計基準第57－４項（４）に定める経過的な取扱いに従っており、当第１四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第１四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成27年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,284,342	1,495,922
受取手形及び売掛金	248,943	150,425
商品及び製品	54,543	64,608
仕掛品	122,942	119,288
原材料及び貯蔵品	89,654	91,292
その他	25,917	22,124
流動資産合計	1,826,344	1,943,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	474,760	467,297
機械装置及び運搬具（純額）	17,591	16,744
土地	362,687	362,687
その他（純額）	80,566	73,759
有形固定資産合計	935,606	920,488
無形固定資産		
のれん	165,920	163,647
その他	26,013	25,343
無形固定資産合計	191,934	188,991
投資その他の資産		
投資有価証券	121,482	20,682
その他	62,672	66,486
投資その他の資産合計	184,154	87,168
固定資産合計	1,311,695	1,196,648
資産合計	3,138,040	3,140,310
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,898	7,223
1年内返済予定の長期借入金	102,368	95,708
返品調整引当金	38,738	－
その他	87,475	132,195
流動負債合計	233,480	235,126
固定負債		
長期借入金	283,220	263,198
その他	1,773	1,565
固定負債合計	284,993	264,763
負債合計	518,473	499,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,846,099	1,846,099
資本剰余金	878,479	878,479
利益剰余金	△110,621	△89,768
自己株式	△1,942	△1,942
株主資本合計	2,612,015	2,632,868
新株予約権	7,551	7,551
純資産合計	2,619,566	2,640,419
負債純資産合計	3,138,040	3,140,310

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年６月30日）
売上高	118,861	124,940
売上原価	67,005	27,027
売上総利益	51,856	97,913
販売費及び一般管理費	123,116	140,421
営業損失（△）	△71,259	△42,507
営業外収益		
受取利息	1,491	4
為替差益	－	1,202
受取補償金	7,690	－
その他	138	308
営業外収益合計	9,320	1,515
営業外費用		
支払利息	495	568
為替差損	1,306	－
その他	4	－
営業外費用合計	1,805	568
経常損失（△）	△63,745	△41,560
特別利益		
投資有価証券売却益	－	69,566
特別利益合計	－	69,566
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△63,745	28,005
法人税、住民税及び事業税	1,369	7,152
法人税等合計	1,369	7,152
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△65,114	20,852
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2,399	－
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△62,715	20,852

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成26年４月１日 至 平成26年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成27年４月１日 至 平成27年６月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△65,114	20,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,512	―
その他の包括利益合計	1,512	―
四半期包括利益	△63,602	20,852
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△61,203	20,852
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,399	―

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。